

ICCEリサーチフェア2019

ICCEリサーチフェアは、東京で開催されるICCEグローバルコーチカンファレンス（2019年10月30日から11月1日）に先立ち、2019年10月28日から29日に開催する。

ICCE研究委員会の共同チェアは、2013年にダーバン（南アフリカ）で開催されたICCEグローバルコーチカンファレンスで初めて研究フェアを開催し、研究者間の交流を促進した。ICCE研究委員会の重要な目的は、国際的な共同研究コミュニティを発展させ、研究能力を高めるための知識と理解の共有を促進することである。つまり、スポーツ・コーチングのプロフェッショナル化とすべてのスポーツ参加者の体験をより良いものにする上での方策や実践について情報を提供する。

今回で4回目のリサーチフェアとなる。これまでの3回のリサーチフェアでは、世界中のスポーツ・コーチングの研究や学問を推進するために、このイベントが如何に重要であるか、非常に前向きなフィードバックを受けてきた。コミュニティを構築し、スポーツ・コーチングの分野をさらに発展させるため、研究者、学術関係者、コーチディベロッパー、コーチ等の参加を歓迎する。ICCEリサーチ2019は、**研究能力の構築**に焦点を当てる。

セッション1・2：ディスカッショングループ・ワークショップ：

指定されたファシリテーターは、能力の構築に関連する以下の広範な目的を達成するため、ディスカッショングループをリードする。

- (i) 知識を実践に転換するための体系的なアプローチ
- (ii) 共同研究の促進
- (iii) プログラム研究の開発

セッション1aおよび1b（参加者は次の2つのテーマを選択し、参加することができる）

- ・ 知識を実践に翻訳するための体系的なアプローチ：知識から行動の枠組み（A systematic approach to translation of knowledge to practice: Knowledge to action framework） - ファシリテーター：Jean Cote
- ・ 共同研究：スポーツコーチングにおける異文化研究（Collaborative Research: Cross-cultural research in sports coaching） - ファシリテーター：Steven Rynne
- ・ 共同研究：コーチングにおける女性（Collaborative Research: Women in coaching） - ファシリテーター：Kristen Dieffenbach
- ・ 共同研究：コーチング科学における特別トピックス（Collaborative Research: Special topics in coaching science） - ファシリテーター：Christine Nash

※これらのセッションは、各グループのファシリテーターが、各セッションからいくつかの主要なメッセージを伝えることで終了する。

セッション2aおよび2b（参加者は次の2つのテーマを選択し、参加することができる）

- ・ 研究能力の向上：解釈主義的研究の厳格さ（Developing research capability: Rigour in Interpretivist research） - ファシリテーター：Wade Gilbert, Gordon Bloom
- ・ 研究能力の向上：重要研究の厳格さ（Developing research capability: Rigour in Critical research） - ファシリテーター：Julian North, Chris Cushion
- ・ 研究能力の向上：実証主義研究における相関研究を超えて（Moving beyond correlational studies in Positivist research） - ファシリテーター：Donna O'Connor, 他
- ・ 研究能力の向上：混合手法研究における厳格さ（Developing research capability: Rigour in Mixed Methods research） - ファシリテーター：Luc Martin, Bettina Callary

※これらのセッションは、各グループのファシリテーターが、各セッションからいくつかの主要なメッセージを伝えることで終了する。

セッション3：全体セッション

研究と世界のコーチングコミュニティのギャップを埋める：機会と課題。持続可能か？（Bridging the gap between Western Research and the global coaching community: Opportunities and challenges. Is it sustainable?） - 招待講演者：Larissa Galatti, Jean Cote

2019年10月28日（月）

9:00	オープニング、導入	Cliff Mallett (Queensland, Australia) Jean Côté (Queens, Canada)
9:15	<u>セッション1a</u> ・ 知識の翻訳（Knowledge translation）－知識を実践に翻訳するための体系的なアプローチ：知識から行動の枠組み（A systematic approach to translation of knowledge to practice: Knowledge to action framework） ・ 異文化（Cross-cultural）－共同研究：スポーツコーチングにおける異文化研究（Collaborative Research: Cross-cultural research in sports coaching） ・ 女性（Women）－共同研究：コーチングにおける女性（Collaborative Research: Women in coaching） ・ 特別トピックス（Special Topics）－共同研究：コーチング科学における特別トピックス（Collaborative Research: Special topics in coaching science）	Jean Côté (Queens, Canada) Steven Rynne (Queensland, Australia) Kristen Dieffenbach (W Virginia, USA) Christine Nash (Edinburgh, UK)
10:45	休憩	
11:15	<u>セッション1b</u> ・ 知識の翻訳（Knowledge translation）－知識を実践に翻訳するための体系的なアプローチ：知識から行動の枠組み（A systematic approach to translation of knowledge to practice: Knowledge to action framework） ・ 異文化（Cross-cultural）－共同研究：スポーツコーチングにおける異文化研究（Collaborative Research: Cross-cultural research in sports coaching） ・ 女性（Women）－共同研究：コーチングにおける女性（Collaborative Research: Women in coaching） ・ 特別トピックス（Special Topics）－共同研究：コーチング科学における特別トピックス（Collaborative Research: Special topics in coaching science）	Jean Côté (Queens, Canada) Steven Rynne (Queensland, Australia) Kristen Dieffenbach (W Virginia, USA) Christine Nash (Edinburgh, UK)
12:45	昼食	
14:30	<u>セッション2a</u> ・ 解釈主義（Interpretivist）－研究能力の向上：解釈主義的研究の厳格さ（Developing research capability: Rigour in Interpretivist research） ・ 重要（Critical）－研究能力の向上：重要研究の厳格さ（Developing research capability: Rigour in Critical research） ・ 実証主義（Positivist）－研究能力の向上：実証主義研究における相関研究を超えて（Moving beyond correlational studies in Positivist research） ・ 混合手法（Mixed Methods）－研究能力の向上：混合手法研究における厳格さ（Developing research capability: Rigour in Mixed Methods research）	Wade Gilbert (Fresno, USA) Gordon Bloom (McGill, Canada) Julian North (Leeds Beckett, UK) Chris Cushion (Loughborough, UK) Donna O'Connor (Sydney, Australia) + TBD Luc Martin (Queens, Canada) Bettina Callary (Cape Breton, Canada)

24/07/2019

16:00	各分科会からの主要メッセージ	
16:30	休憩	
17:00	<u>セッション2b</u> ・ 解釈主義（Interpretivist）－研究能力の向上：解釈主義的研究の厳格さ（Developing research capability: Rigour in Interpretivist research） ・ 重要（Critical）－研究能力の向上：重要研究の厳格さ（Developing research capability: Rigour in Critical research） ・ 実証主義（Positivist）－研究能力の向上：実証主義研究における相関研究を超えて（Moving beyond correlational studies in Positivist research） ・ 混合手法（Mixed Methods）－研究能力の向上：混合手法研究における厳格さ（Developing research capability: Rigour in Mixed Methods research）	Wade Gilbert (Fresno, USA) Gordon Bloom (McGill, Canada) Julian North (Leeds Beckett, UK) Chris Cushion (Loughborough, UK) Donna O'Connor (Sydney, Australia) + TBD Luc Martin (Queens, Canada) Bettina Callary (Cape Breton, Canada)

2019年10月29日（火）

9:00	各分科会からの主要メッセージ	
9:30	<u>セッション3：全体セッション</u> 研究と世界のコーチングコミュニティのギャップを埋める：機会と課題。持続可能か？（Bridging the gap between Western Research and the global coaching community: Opportunities and challenges. Is it sustainable?）	Larissa Galatti (Campinas, Brazil) Jean Côté (Queens, Canada)
11:00	休憩	
11:30	クロージング	Cliff Mallett (Queensland, Australia) Jean Côté (Queens, Canada)
12:00	昼食	